

BUSINESS REPORT

へんしもの

第40期 [平成22年4月1日～平成23年3月31日]



SQ-13BVYT 1/30スケールモデル



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役会長
山本 吾一



代表取締役社長
山口 隆士

CONTENTS

- 1 株主の皆様へ
- 2 財務ハイライト
- 3 財務諸表
- 5 事業概要
- 7 製品・トピックス
- 10 会社情報

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

先般の東日本大震災により被災されました皆様に対しましては、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

この度、第40期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

営業の概況等

中期経営計画(3ヶ年)「未来への創造」の初年度として、今一度原点に戻り「技術の兼松」を再構築し、「顧客信頼度“ナンバー1”企業」を目指し取り組みんでまいりました。

業績全般におきまして、主力製品では、工場関係向け強力吸引作業車が堅調に推移し、「ネオモービル(乾式吸引作業車)」の拡販や、「エコモービル(汚水吸引作業車)」といった新機軸の製品にも一定の成果がありました。特殊製品では、柑橘類果皮から精油を採る「マイクロ波抽出装置」2台、「リバーエース(水生雑草回収船)」の販売、高速道路会社向け「リサイクルコンピ」の受注等がありました。

また、海外では重慶耐德山花特種車有限責任公司(中国)と強力吸引作業車・高圧洗浄車の「技術移転に関する契約書」を締結し、新市場の開拓に着手しました。さらに、同社のデモ車として強力吸引作業車、高圧洗浄車を受注し、また、東南アジアにおけるODA案件の受注もありました。

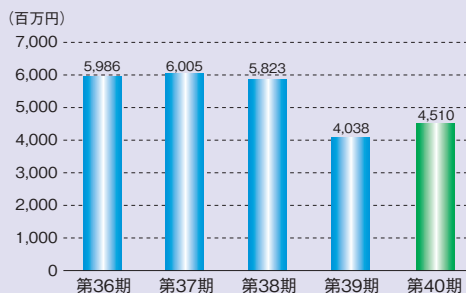
全体に期末にかけて受注が好調で、期末受注残高が大幅に増加する等、業績は回復傾向となっております。なお、東日本大震災における当社の被災状況については、賃借入居の東北・北海道支店(仙台市)が被災したものの、当期の業績に与える影響は軽微なものでした。

その結果、受注高は906百万円増の5,142百万円(前期比21.4%増)、売上高は471百万円増の4,510百万円(前期比11.7%増)、営業利益は75百万円(前期は営業損失38百万円)、経常利益は99百万円(前期は経常損失6百万円)、当期純利益は92百万円(前期は当期純損失68百万円)と二期ぶりに黒字転換となりました。

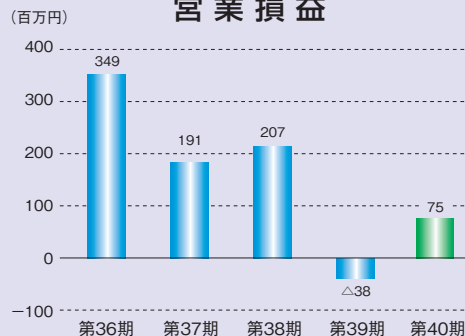
今後とも、「環境整備機器の総合メーカー」を目指し、中期経営計画「未来への創造」の中間年度として取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

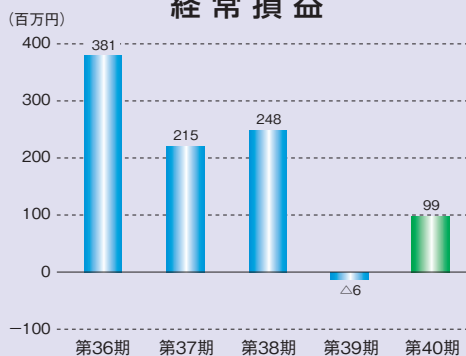
売上高



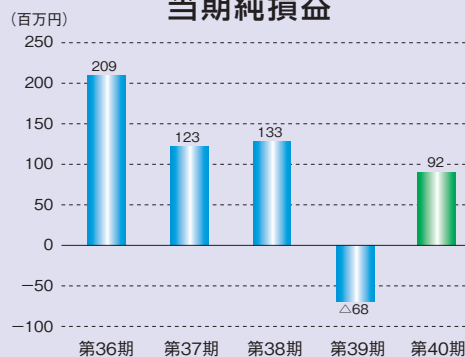
営業損益



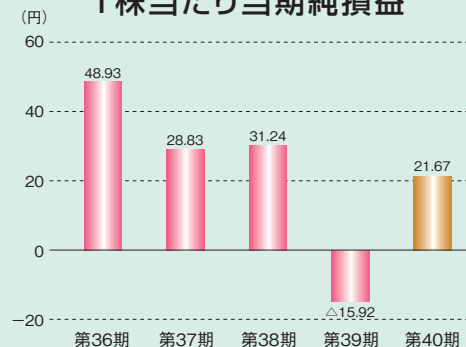
経常損益



当期純損益



1株当たり当期純損益



1株当たり純資産



●貸借対照表

(単位:千円)

資産の部
 総資産は、前期末に比べ299百万円増加し、4,592百万円となりました。これは主に、たな卸資産は111百万円減少しましたが、売上債権が308百万円増加したことや、現金及び預金が130百万円増加したことによるものであります。

負債の部
 負債は、前期末に比べ253百万円増加し、1,975百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加148百万円及び引当金の増加53百万円等によるものであります。

純資産の部
 純資産は、前期末に比べ45百万円増加し、2,617百万円となりました。これは主に、剰余金の配当51百万円はありましたが、当期純利益92百万円を計上できたこと等によるものであります。

科 目	当 期 (平成23年3月31日)	前 期 (平成22年3月31日)	増 減 (△印減)
(資産の部)			
流動資産	2,531,216	2,177,128	354,088
固定資産	2,061,587	2,116,450	△54,863
有形固定資産	1,776,165	1,831,465	△55,300
無形固定資産	10,043	7,661	2,381
投資その他の資産	275,378	277,323	△1,944
資産合計	4,592,803	4,293,579	299,224
(負債の部)			
流動負債	1,606,675	1,345,137	261,538
固定負債	369,046	377,225	△8,179
負債合計	1,975,722	1,722,362	253,359
(純資産の部)			
株主資本	2,615,982	2,574,948	41,034
資本金	313,700	313,700	—
資本剰余金	356,021	356,021	—
利益剰余金	1,948,034	1,906,678	41,356
自己株式	△1,773	△1,451	△322
評価・換算差額等	1,098	△3,731	4,830
純資産合計	2,617,081	2,571,216	45,865
負債純資産合計	4,592,803	4,293,579	299,224

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前 期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	増 減 (△印減)
売上高	4,510,860	4,038,977	471,883
売上原価	3,434,697	3,244,050	190,646
割賦販売未実現利益戻入額	3,275	5,522	△ 2,247
売上総利益	1,079,437	800,449	278,988
販売費及び一般管理費	1,004,184	839,211	164,972
営業損益	75,253	△ 38,762	114,015
営業外収益	26,453	34,477	△ 8,024
営業外費用	2,081	2,092	△ 11
経常損益	99,625	△ 6,377	106,002
特別利益	29	11,528	△ 11,498
特別損失	9,479	7,958	1,521
税引前当期純損益	90,175	△ 2,807	92,983
法人税、住民税及び事業税	20,864	3,742	17,121
過年度法人税額	—	7,784	△ 7,784
法人税等調整額	△ 23,368	53,742	△ 77,111
当期純損益	92,680	△ 68,077	160,757

売上高

当社主力製品の強力吸引作業車が前期比22.4%増の2,775百万円、汚泥吸引作業車が48.7%増の101百万円、粉粒体吸引・圧送車が211.7%増の168百万円となり当期売上高は、4,510百万円となりました。

当期純損益

受注・売上ともに、前期に比べて増加し、また原価低減活動、販売費及び一般管理費の抑制等を継続実施した結果、黒字に転換いたしました。

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前 期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	276,354	140,818	135,535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 68,199	△ 80,377	12,178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,813	△ 107,199	31,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 619	123	△ 742
現金及び現金同等物の増減額	131,721	△ 46,635	178,357
現金及び現金同等物の期首残高	342,630	389,266	△ 46,635
現金及び現金同等物の期末残高	474,352	342,630	131,721

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。



当社は環境整備機器の製造販売を行っています。中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

●強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 2,876 百万円

強力吸引作業車は、工場関係向け需要が堅調に推移し、受注・売上ともに前期より増加しております。

汚泥吸引作業車は、小規模市場ではありますが、受注・売上ともに前期より大幅に増加しました。

〈用途〉

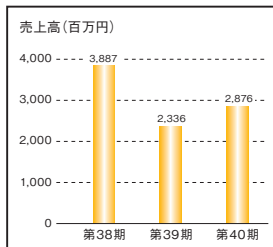
- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 粉粒体の長距離吸引



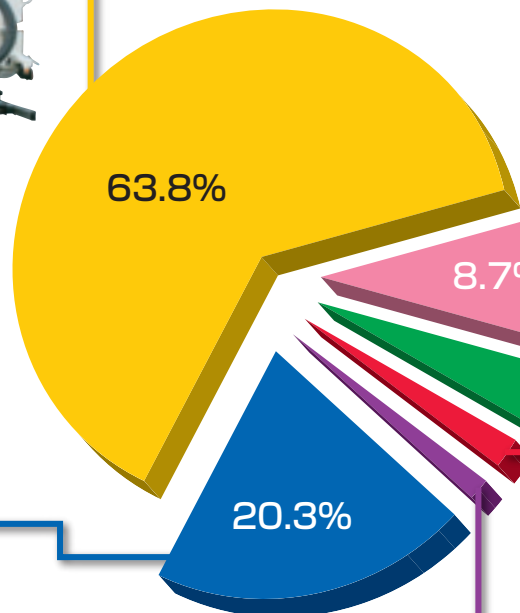
強力吸引作業車(SM-04BVP)



空冷式超強力吸引作業車(NSR-13CWP)



製品別売上高構成比



売上高合計 4,510百万円

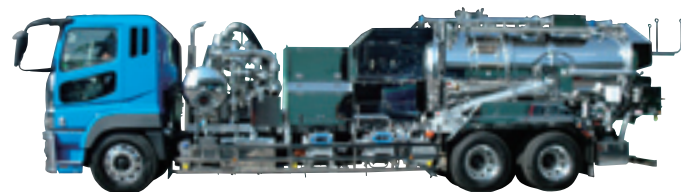
●新製品 ●部品販売・修理等

売上高 916 百万円

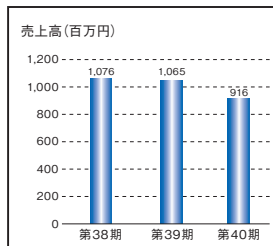
新製品やその他の区分に属さない製品などが含まれております。

中古車の販売及び修理等については売上が減少しておりますが、特殊製品の受注残高は増加しております。

部品は堅調に販売されており、受注・売上ともに前期に比べ増加となりました。



高圧洗浄装置付強力吸引作業車(CS-16BVJP)



●高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機

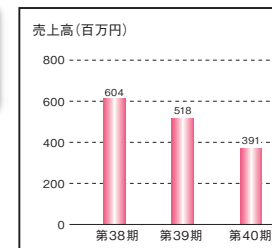
売上高 391 百万円

国内では、下水道整備の予算は減少の傾向にあり、受注・売上ともに前期より減少しております。

- 〈用途〉
- 下水道管の洗浄
 - ビル配管システムのメンテナンス
 - 熱交換器の清掃



高圧洗浄車(JS-04SS2254A)



●粉粒体吸引・圧送車

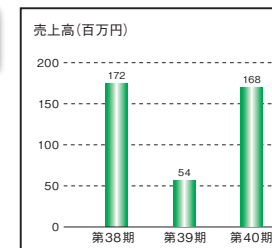
売上高 168 百万円

製鉄・工場関係の引き合いが好調で、受注・売上は大幅に増加しております。

- 〈用途〉
- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
 - 焼却灰の回収運搬



粉粒体吸引・圧送車(SR-13DWFJP)



●定置型吸引機

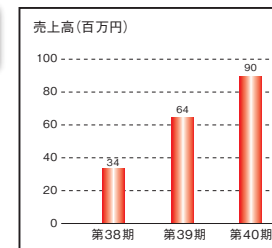
売上高 90 百万円

価格競争が厳しい製品ではありますが、当期は工場設備・製鉄関係で引き合いがあり、受注・売上ともに前期より増加しております。

- 〈用途〉
- 塗装プラストの回収
 - 工場内清掃
 - フライアッシュの回収



定置型吸引機(NEL-75SV)



●汚泥脱水機(車)

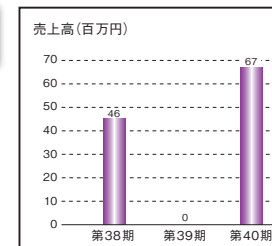
売上高 67 百万円

前期に売上はありませんでしたが、今期は受注・売上ともに増加しております。

- 〈用途〉
- 建設汚泥の脱水・リサイクル
 - 中間処理施設での脱水
 - 生コン汚泥の脱水・リサイクル



汚泥脱水車(AG-06CF)



エコモビル・汚水吸引作業車



EM-04KTJP

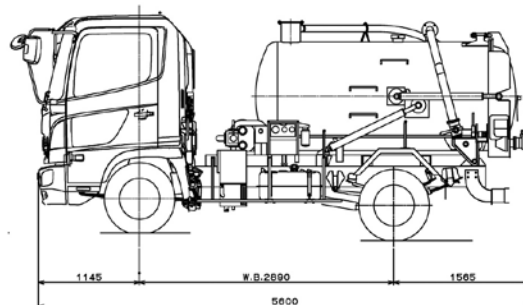
真空ポンプ搭載

ブLOWER搭載型の強力吸引作業車に加え、お客様からのご要望により、新たに真空ポンプを搭載した汚水吸引作業車（エコモビル）をラインナップに加えました。

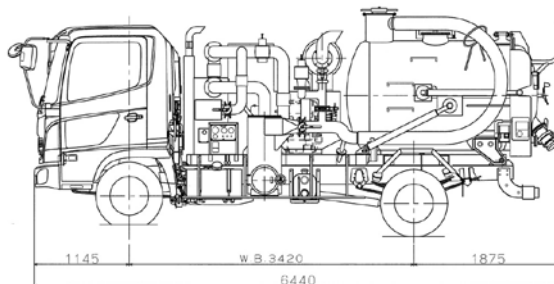
特徴

吸引装置をコンパクトに設計し大容量のレシーバータンクが搭載可能となりました。

外観図



真空ポンプ搭載型



ブLOWER搭載型

マイクロ波抽出装置

実用化に至ったマイクロ波抽出装置が平成23年3月、高知県工業技術センター様（写真）と土佐れいほく農業協同組合様に納入しました。高知県工業技術センター様は研究用試験装置として、土佐れいほく農業協同組合様は柚子搾汁残渣の脱水装置、並びに精油抽出装置として使用いただいています。



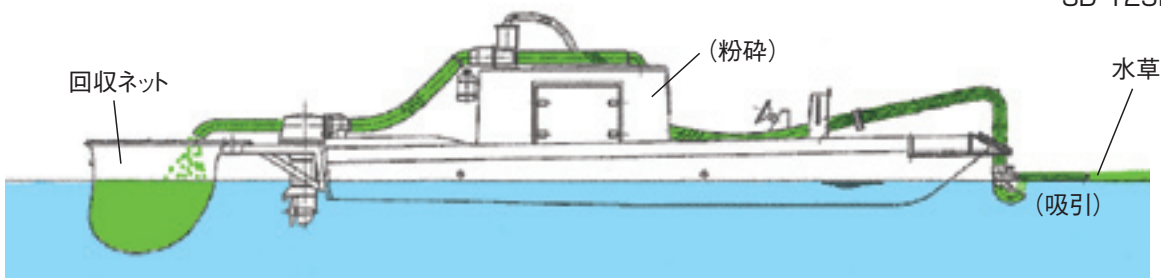
マイクロ波抽出装置

リバーエース・水生雑草回収船



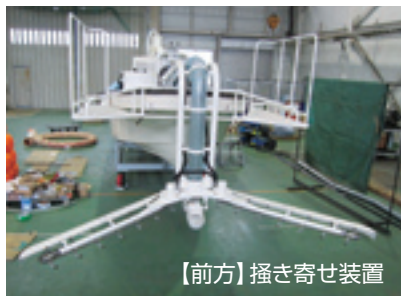
作業風景

SD-125R



用途

夏場、河川や湖沼に発生するホテイアオイやカナダモ等の水草が繁殖すると、水の流れを止めたり、漁業に支障が出ます。また、冬場には枯死したものが環境に悪影響を与えます。これらの水草を吸引除去する作業船です。



【前方】掻き寄せ装置



【後方】回収ネット

特徴

- 先端の掻き寄せ装置で水草を吸引ホース部に集め、回収。
- ポンプによる粉碎で、1/5から1/10に減容化され排出。
- 500m²/hrの大きな回収能力。

中国市場へ本格参入

平成22年11月25日、中国重慶市において、重慶耐德山花特種車有限責任公司との間で「技術移転に関する契約書」を締結し、共同プロジェクトがスタート致しました。

これまでの海外取引は、国内で製品の全部または一部（上物部分）を製作し、輸出する形を取ってきましたが、今回の新しいビジネスモデルは、当社が重慶耐德殿に特定機種（吸引車2機種、洗浄車1機種）の製作図面を引き渡します。同社は、当社の技術指導を受けながら製造し、同社で調達したシャーシに架装した上で販売します。当社は重慶耐德殿から、図面代と販売成約毎のロイヤルティを頂きます。これによって、兼松ブランドの品質を維持しながら現地市場に見合った価格での販売を目指します。

また同社には市場開拓のためのデモ車として吸引作業車、高压洗浄車を各1台受注頂き、出荷しております。



調印締結風景



中華人民共和国

東日本大震災における東北・北海道支店の状況

平成23年3月11日に発生した、東日本大震災における当社の状況についてお知らせします。

1. 人的被害の状況

仙台市にある東北・北海道支店の従業員全員は無事であり、また、その他の従業員に関しても被災しておりません。

2. 東北・北海道支店の事務所の状況

東北・北海道支店（賃借物件）におきまして、建物の一部に亀裂等の破損が見られ震災直後より使用できない状況でしたが、平成23年5月2日より業務を再開しております。（建物外壁につきましては、外壁診断後、復旧工事を行います）



震災後の東北・北海道支店
事務所建物外壁

● 会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日
 資本金 313,700,000円
 従業員数 153名
 事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等
 環境整備機器の製造販売

● 役員

代表取締役会長 山本 吾一
 代表取締役社長 山口 隆士
 取締役 山本 琴一
 取締役 佃 維男
 常勤監査役 沖田 雅夫
 社外監査役 西岡啓二郎
 社外監査役 平井 雄一

● 事業所

本社 〒781-5101 高知市布師田3981-7
 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11
 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20
 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
東日本支社
東京支店 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ601号
 TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2階
 TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
千歳営業所 〒066-0043 千歳市朝日町8-1206-51 釜田ビル2階
 TEL (0123) 42-6661 FAX (0123) 42-6650
名古屋支店 〒452-0809 名古屋市西区花原町40
 TEL (052) 501-3171 FAX (052) 501-3095
西日本支社
大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43
 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店 〒739-0026 東広島市三永2-8-16 太田ビル1階
 TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6階
 TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

● 株式の状況

会社が発行する株式の総数 13,520,000株
 発行済株式の総数 4,276,043株
 (自己株式3,957株を除く)
株主数 538名

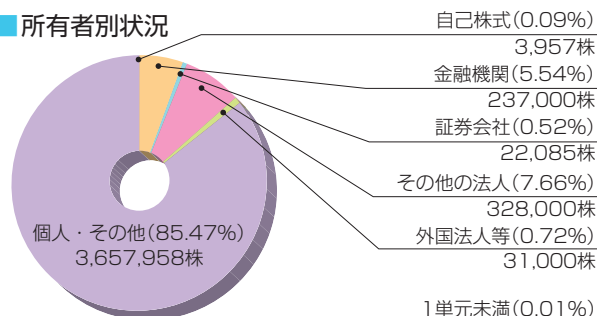
大株主

株主名	持株数	持株比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	447,000株	10.45%
三谷浩溢	327,200株	7.65%
山本琴一	323,000株	7.55%
山口隆士	233,640株	5.46%
株式会社扇港鋼業所	224,000株	5.24%
山本吾一	202,200株	4.73%
柳川裕司	148,200株	3.47%
株式会社四国銀行	117,000株	2.74%
坂本洋介	102,960株	2.41%
板垣周	83,000株	1.94%

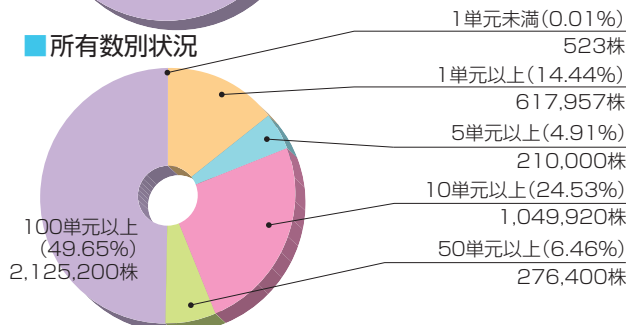
(注) 持株比率は、自己株式(3,957株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況

■ 所有者別状況



■ 所有数別状況



●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 大阪証券取引所市場第2部

 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL:(088)845-5511 FAX:(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

 
古紙配合率100%再生紙
このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。